

# Dragon通信 vol.4

宮古諸島つかさ応援プロジェクト  
Byリバイブドラゴン 2011年2月発足



宮古諸島で、うたきを守っている後継者が、途絶えそうだという現状を知り、何か力になれることはないだろうか？という思いから立ち上がったボランティア団体が「リバイブ・ドラゴン」です。宮古諸島のうたきの後継者不足の問題は、日本全国にも共通することでもあると思っています。メンバーは関東在住ですが、大好きな宮古諸島のために少しでも力になりたい、という思いで活動しています。東京でも何かできないだろうか？とメンバーとアイデアを出し合い年に数回イベントを行っています。

Miyakojima Café  
JUL.18-19 2015



「都内でもできること」として、毎年テーマを決めて美智子皇后の母校でもある聖心女子大学で、宮古島から島出身の方に話をしていただき、伊良部島の無農薬のお茶と、宮古島の伝統的なお茶菓子を味わってもらうというイベントを行っていました。ただ、嚴重な事前登録が必要だったため、今度は、多くの方がふらっと立ち寄っていただけるようなカフェの開催にしてみようということになりました。

宮古島カフェを開催するにあたり、第一に、場所決め・試食会でわかったことは、想像以上に資金が必要である！ということでした。そこで、クラウドファンディングサービスのレディフォーという仕組みを利用し、資金を募ることにしました。約一か月かけての資金集めに成功し、胸をなでおろす暇もなく、試食会・開場設営・広報活動と開店まで大わらわでした。前日までの準備が成功を決める、といいますが、本当に多くのご縁を頂きカフェを成功することができました。

「レディフォー」で協力して下さった皆様  
本当にありがとうございました！

今回カフェを開店するにあたって、人と人との縁が、どんなに大切なものが気づかせて頂きました。圧倒的な東京の人口の人間関係からはなかなか気付けないことを、あちこちが知り合いどころか親戚関係だったりする宮古島で体験することがよくあります。そんな宮古に心の故郷のような居心地さを感じたことが、この活動を始めるきっかけにもなったわけですが、宮古島のため、と思っていたら、いつの間にか自分が多くを受け取っていることが多くあります。そんな素敵な島の古き良き文化を応援するために、微力ながら今後も活動を続けていきたいと思えます！ 橋本弥生

宮古島に興味を持ってもらいたい！という気持ちから8月末までの限定販売で、フォトブックを製作しました。

カフェプロジェクトのメンバー（素人）が宮古島で撮ったお勧め写真の中から更に50枚を厳選した写真集になりました。



神秘の島 宮古  
行って、帰って、記録  
Miyakojima cafe



## 宮古島カフェを終えて ～それぞれの想い～



表参道で行いました宮古島カフェ。2日間で60人のお客様を迎えることができ、担当しましたオリジナルグッズ販売では、2日間で約8000円の寄付金を売り上げました。

宮古島カフェでは、宮古島のゆうなを使った草木染グッズ製作・販売を担当し、宮古島にしっかりと腰を据えて制作した過程を説明することで、宮古島の自然に関心をもってもらうことができました。まさか、ここまで売上げをあげることができるとは。

私が今回カフェに関わるキッカケは、つかさPJのメンバーとして、グッズ方面で売上UPに貢献したいと思ったからです。

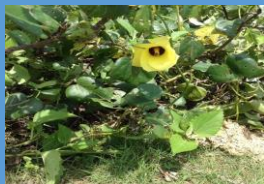
その前にご説明しなければならなかったのは、つかさPJメンバーとして宮古島に関わるキッカケです。

2年前家族関係に悩んでいたころ、宮古島の家族文化に触れ、ふっきれたことがきっかけです。宮古島では家族に対する考え方がとてもシンプルで、「長男が家を取り仕切る」。それさえしっかりできていれば、万事助け合いながら、うまくいっている。私も長男としての役割を受け入れよう。

初めての宮古島へは、さまざまな人のご縁を通して実現しました。

2年前まで携わっていた、青少年教育プロジェクトのリーダーから、なぜか同期リーダーの橋本さんに会うように薦められました。その勧めもあり、橋本さんがリーダーのつかさPJのイベントに参加しました。宮古島に関わる人たちと初めて会ったとき、懐かしさを感じ、これは何か深く関わらなくてはと思い、三日後には宮古島へ行く手配をしました。

今後は、宮古島の文化継承をお手伝いしたいと考えております。具体的には、200年前まで存在した宮古島のゆうなを原料とした繊維を復活させ、宮古島に新たな工芸・産業を復活させることです。 なりなり



宮古島の仲間と無事に宮古島カフェをやるという貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。お誘い頂いた皆さま、協力して頂いた皆さまに改めて感謝申し上げます。

私は、今まで宮古島から自然の素晴らしさやパワー等々をたくさん頂いていたので、私もなにか宮古島の為にできたらいいなという漠然な思いが、今回の宮古島カフェで叶えることができ本当に嬉しいです。カフェを通じて、仲間の大切さや各個人にはそれぞれ役割があり、そして自然に役割分担されて仲間全員の力が合わさり1つの形になるという事を学ぶことができました。宮古島への恩返しをしたいという思いだったのですが、逆に今回も大事なものを頂いてしまった形になり、宮古島を通して学ぶことは多く、更に宮古島に魅かれました。本当に素晴らしい経験をさせて頂いたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。 賀集知都



約2年前に宮古島に連れて行ってもらったことがきっかけで、宮古島の魅力に魅せられました。今回の宮古カフェを通して少しでも多くの人に宮古島を知ってもらいたいと思い、関わらせていただきました。正直、カフェ自体やったことがあるメンバーもいなかったため、本当にできるのか不安ではありましたが、役割分担と度重なるミーティングと料理の試作を経て、今回のカフェ実現となりました。メンバーのよいところを活かし、誰も欠けては成り立たなかった今回のカフェは、自分自身の自信ともなりました。カフェには久々に再開する友人やたまたま通りすがりの人までいろいろな人が来てくれました。いろいろな人のご縁の有難さを再確認しました。次回、冬に開催時もっと宮古島の良さが伝わるように心掛けながら、場を盛り上げていきたいと思いました。今回、このメンバーとカフェを実現することができて、何よりも自分自身の財産となりました。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

木村正美



## 宮古島とのご縁

### ～島のこんなところ、大好き！～

最初に宮古島に行くことになったきっかけは、友達が「前に行ったときすごくいいところだったので一緒に行く？」と声をかけてくれたことでした。

一番最初に心に響いたのは、やはり景色！！

海も空も太陽も雲もすごくきれいで穏やかで、全ての色が濃くてものすごい衝撃を受けたのを覚えています。

ただ、そこにいだけで癒される。そんな空間があって幸せな感覚。

初回ですっかり宮古島のとりこになってしまった私はその後も宮古島へ通うことになるのですが・・・

訪れるたびに新しい仲間たちとの出会いがあったり、地元の方々の温かさにたくさん触れることが出来たり、その時その時の海の輝きや空、花々や朝日や夕日、雲、自然に触れていくことで、ふうっと力が抜けていくのを感じます。

そして自然に対する敬意の気持ちが溢れて感謝の気持ちでいっぱいになります。

流れる雲を眺めているといろいろなかたちに見えるのも魅力の一つです。

あと、不思議だなあと思うのは、宮古島で楽しんで帰ってきた後には自分の中で新しい大きな気づきがあったり、もしくは自分にとって嬉しい大きな変化があったり、、そういうことがいっぱいあるのです！！本当に不思議です。

宮古島でたくさんのお会いがありました。新しい自分も発見できたと思います。

今は、宮古島に行くというよりは帰るって感覚です♪

私にとって宮古島は大好きな心のふるさとです(≥▽≤)

さて、次はいつ宮古島に帰ろうかな～♪ 奥田美保



宮古に行ったきっかけは友人、ちとちゃんからのお誘いです。宮古の自然と、ていだの郷の方々の温かさに魅了され、通うようになりました。今回の宮古カフェに参加し、少しでも力になれたことに感謝しています。はじめカフェをやると聞いたとき、難しいのではないかと思いました。食品業界にいるからこそ、準備の大変さが目に浮かびました。しかし、皆さんそれぞれ得意分野があり、チームワークが良かった！これもみな、いつも癒しをもらう宮古島に恩返しをしたいという同じ目的があるからだと思います。また何かありましたら、いつでも協力させてください。ありがとうございました。

江口貴和子

#### ～自分にとっての宮古島～

宮古島に初めて行ったのは4年前の撮影ロケでした。なんの前情報もなく訪れた島で、カメラを通して非常に不思議な体験をし、そこが神の島であるということを知られました。それ以来、「ゆーくい」という豊年祭や島の行事に参加させていただいております。ボランティアとして宮古島の為に動く人たちがいます。僕は何がそうさせているんだろう？人の心を動かしているのはなんだろう？っていつも考えています。自分は、写真や映像を通してその部分を少しでも多くの人たちに触れてもらえたらいいなと思っております。

香田ノブヒロ



# ～宮古島カフェ収支報告～

宮古カフェ収支		
【売上合計】	¥214,020	
ReadyFor(引換券・郵送費等差引後)	¥125,800	¥214,020
売上げ	¥88,220	
【支出合計】	¥107,572	
人件費	¥0	
場所代	¥49,680	¥107,572
材料費(2日間)	¥33,199	
ポロシャツ代(7名)	¥22,593	
雑費	¥2,100	
【総合収支】		¥106,448

支出は全てReadyForのクラウドファンディングで達成することができたため、売上金は全てオリジナル扇子に使うことができました。

ご支援下さった皆様、ご協力ありがとうございました！

お扇子の出来上がりの様子は、今年の秋頃つかさ応援プロジェクトのホームページと、レディフォーの新作メッセージでご報告させていただきたいと思っておりますのでどうぞ楽しみに！

## 宮古島カフェプロジェクトリーダー川島さん



宮古島カフェにご協力頂きました皆様、ご来店頂きました皆様。心からありがとうございます。

いつも宮古島の自然に癒されているうちに、この宮古島に対して何か恩返しをしたい気持ちがありました。でも、どのようにしたら良いのか分からないまま、宮古島の食材を使って何か出来ないだろうか？ みんなで考えたところ、カフェ開いてみたらどうかな？という案があがって形になったのが、宮古島カフェです。

ご来店頂きました皆様から喜んで頂く声も聞こえ、開催して良かったと、ほっと一息をつけております。

このカフェを開催するのに、いろいろな問題がありましたが、仲間がいたから乗り越えることができました。本当にありがとう！！！！

初日のカフェ帰り、19時近かったにも関わらず、空には大きな虹が現れました。まるで、疲れた身体を神様がねぎらってくれているかのようでした！



### 【今後のイベントと次号のご案内】

今後の予定は、売上げで得た資金でつかさにオリジナル応援扇子を作成し、渡します。作画に時間がかかりますが、ゆーくいの前までには仕上げたいと思っています。

長浜うたきのゆーくいへ奉納：お扇子・子供達用おかし

次号発行予定時期：2015年秋頃

\* 今後の活動は、ドラゴン通信や、HP、ブログなどで随時お知らせしていきますので、どうぞ楽しみに！

### 【寄付のお願い】

「つかさ応援プロジェクト」では宮古島の文化の継続を応援するための活動を様々な角度から行っております。皆様から頂く寄付は全てつかさの負担が軽くするために使用いたします。

振込先名 ミヤコシヨウトツカサオウエンプロジェクト

郵貯から郵貯へのお振込 記号10110 記号[48510411](#)

銀行から郵貯へのお振込 店番018 普通 口座番号 [4851041](#)